

〈学校教育目標〉
じりつする
子供の育成

学校だより



平成30年度 1月号 1月25日

新しい年を迎え、気持ちも新たに3学期スタート

謹んで新年のご祝辞を申し上げます。

皆様には、幸多き新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

本年も昨年同様、入善小学校へのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



14日間の冬休みが終わり、学校には、一回り成長した子供たちの活気に満ちた姿が戻ってきました。

始業式では、新しい年を迎え気持ちのスイッチを入れ直し頑張ろうと意を新たにしている子供たちの表情がうかがえ、とても嬉しく思いました。式辞では、「亥年」の由来や「イノシシ」の特性をもとに、子供たちには、学年のまとめをすることと、一つ上の学年の様子をよく見て進級するための心構えをするよう話しました。

式後の学年代表による「新年の抱負の発表」では、子供たちの今年の日当てを聞くことができました。子供たちの発表は「中学生になるために、勉強を頑張りたい」、「ばらばらの九九でもしっかり言えるように覚えたい」、「6年生に喜んでもらえるように送る会を頑張りたい」など、具体的な日当てになっていることに感心しました。子供たちには「じりつ」という話を何度もしています。子供たちの日当ては正に自分で考えて実行に移そうとしているものです。

その子供たちの「じりつ」を目指した実践をしっかりと見守り適切な支援を行っていくことに教職員が一丸となって取り組みたいと考えています。今学期もご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

書き初め会

始業式の後、新年の風物の書き初め会を行いました。一筆一筆と思いを込めながらクレヨンや筆を運び書き上げた字は、それぞれの子供たちの今年にかける意気込みを感じることができ、いずれも素晴らしい字ばかりでした。

各学年が書いた今年の課題は右の通りです。

1年:「ひかり」 2年:「あさ日」
3年:「広いうみ」 4年:「光る立山」
5年:「春の大地」 6年:「強い信念」



*** 3学期の主な行事 ***

- 1月16(木)～17日(金) 5学年宿泊学習(立山山麓スキー場・国立立山青少年の家)
- 16日(木) 6学年スキー学習(立山山麓スキー場)
- 2月8日(金) 学習参観、学級懇談会、中学校入学説明会
- 9日(土) 自卑同窓会 第45回42歳同窓生祝賀会(於:うるおい館)
- 23日(土) 6年生を送る会
- 25日(月) 振替休業日
- 3月19日(火) 卒業証書授与式
- 22日(金) 平成30年度 修了式

「子どもが育つ魔法の言葉 (ドロー・ロー・ノルト著)」より

****子どもはみんな、違うんだ****

新しい年を迎え、子供たちは新鮮な気持ちで学校生活を送っています。そんな子供たちを応援するためにも、私たち大人は一人一人のよさをしっかり見つめ、生かしていかねばなりません。

親は我が子を思うあまり、ついつい他の子と比較しようとしてしまいます。でも、子供は比較されることを嫌います。それが、兄弟姉妹であれば、もっと嫌います。

ドロシー・ロー・ノルト 博士(1924～2005)は40年以上にわたって家庭関係についての授業や講演を行い、家庭教育の子育てコンサルタントを務めていました。「子どもが育つ魔法の言葉」は10カ国語以上で翻訳され、多くの共感を呼ぶミリオンセラーとなっています。書店にいけばお求めいただけるとおもいます。興味のある方はどうぞ読んでみてください。今回は、その中から「子どもはみんな、違うんだ」を紹介します。

子どもはみんな、違うんだ

覚えておこう

子どもは、成長の設計図をもっている

子どもは、その子の速さで伸びる

子どもは、その子の時間で育つ

子どもは、その子の図案で実る

子どもは、その子の歩はばで学ぶ

子どもは、その子の資質で生きる

子どもは、その子の頭で考える

子どもは、その子自身の人生の約束を果たす

子どもは、みんな、違うんだ

子どもを励まそう

自分を大切にするように

人との違いを生かすように

全力でぶつかるように

よい実を結ぶように

愛の心を感じるように

この世の違いを認められるように

命を救うように

確かな未来をつかむように

忘れないでほしい

その子は、この世にたった一人しかいないのだ

子どもは違う

一人ひとり、みんな違う

そんな子どもがいるから

この世にすばらしい

違いが生まれる

